

越中一宮

高瀬神社社報

創刊号

平成16年1月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>



社報発刊に思いを寄せて

宮司 藤井 秀 弘

「歳月は人を待たず」と云う言葉があります。ほんとうに一年三百六拾五日の時間は早く過ぎて行きます。

「おめでとうございます。」

平成十六年の初詣に何を祈願されましたか。私は此の美しい、平和な日本がいつまでも続き、人々の生活が常に幸でありますようにお守り下さい、とお詣りしました。

さて、私たちそれぞれが毎日の生活を反省したり、一日の生活の仕方を考えながら生活しているでしょうか。仮りに生活していることに思いをめぐらすと、色々な事が浮上して反省することに追われてこまることがあると思います。「私は少しもこまることはない。」と云う人がおおいになるとしたらそれは、誤魔化しの生活だと私は思うのです。今日一日の生活をどのように過したか良し

悪しを探してみる、また、今日一日の生活が無事終ったことに深く感謝し「ありがとう」と云う情操の心を

持ったことがあるのかなのか、なご過ぎ去った平成十五年の一年を考えてみることも必要なことかと思えます。人は自分の仕事にまた生活になれてきますとそれが当然であり、あたりまえだと思ふようになり不満がたまり更にストレスとなり他に大きな迷惑をかけることになりま

す。人間だけの心の問題かと思うのですが、一人一人が自分を律する心を持つことが大切です。大自然の中で生きていけるのは人間だけではありません。沢山の動植物も人間と共同生活をしているのです。多くの動植物は自分が生きるための方法を長い時間をかけて身につけているようです。このことを自然の摂理と云うのでしょうか私たちは生活

の中にこの生き方を学ぶことが大切かと思うのです。

自分の考えや生き方が一番立派で正しいからこれを他人におしつけたり服従させたりすることは人のやることではないのです。教えると言ふことはならう人が意欲と喜びを持つことです。それ以外は迷惑なことなのです。

平成十六年の新しい年、私たちは少しでも利口になりましょう、利口になることが幸な生活を創造するのですから、平成十五年を反省し平成十六年に精巧になるそんな年でありますよう祈りたいと思うのです。



平成十六(甲申)年
皇紀二六六四年

謹賀新年

宮司 藤井 秀弘

権宮司 藤井 秀嗣

禰 宜 齊藤 直己

全 河合 正登

権禰宜 浦 泰宏

巫女 川合 沙織

全 玉井 千里

全 長谷川 瞳

事務員 黒田三津子

囑託 岩倉 友子



御祭神

大国主命 (大己貴命)
天活玉命
五十猛命

「御出緒」

御鎮座の年代は不詳ですが第十二代景行天皇の御代と伝えられております。

天武天皇の御代に当神社へ勅使を遣され、その後、光仁天皇宝龜十一年に従五位に、更に清和天皇貞観元年に正三位、治承四年に正一位に列されると共に多くの社領荘園があり、皇室の御領となったこともあるようです。

戦国時代に入ると、往古の繁栄はいづこへ、社頭は荒廃し、人心も乱れた時代でした。江戸時代になると崇敬心の厚い加賀藩主の保護により神威は昂揚し、明治六年に県社、大正十二年に国幣小社となり、翌十三年に摂政宮(昭和天皇)の御使が御参拝になり昭和二十年終戦と共に国民の幸を祈るように勅使の御参拝がありました。

また、井波町は「木彫刻」でも知られ、社殿には多くの彫刻が奉納されています。

越中一宮について

「一宮」は一国に一社定められており、国司が任国に着任の折、管内の神社に巡拝し、中央の神祇官に代わり年毎に奉幣する際、第一に参拝する、その国内で最も重要な神社です。

「越中国」においては、当神社が「越中一宮」と定められており、平安時代初期の東大寺領荘園跡の国指定史跡「高瀬遺跡」や「大宮司・神子畑・勸学院」などの氏子の地名から往時の面影を偲ぶことができます。

高瀬遺跡



※写真真提供 (井波歴史民俗資料館)

越中一宮 高瀬神社 功霊殿

御社殿に隣接する功霊殿は、明治から昭和にかけて我が国の存亡をかけた戦いに出征され、散華された砺波地方出身の御英霊をはじめ郷土の伝統文化を護り伝えるため、また平和と発展を願い貢献されました文化・産業功労の御英霊六四〇〇余柱をおまつりしております。

御英霊の御恩に報いようと、昭和二十四年に当神社旧本殿(天保七年建立)をもって創建されました。

現在の恵まれた社会の陰には、御英霊の尊い努力があることを忘れてはなりません。

御英霊に今日あることを感謝して、日々お参りしましょう。

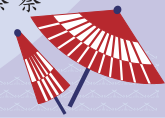


祭事暦

《平成十六年》

一月 一日	歳旦祭
一月 三日	元始祭
一月 二十五日	天神祭
二月 三日	節分祭
二月 十一日	紀元節祭
二月 十七日	祈年祭
三月 八日	鎮火祭
三月 二十日	春季皇霊祭
四月 三日	神武天皇祭
四月 十日	春季祭
六月 十日	祈年穀祭
六月 十九日	風宮例祭
六月 三十日	夏越大祓
七月 吉日	稻荷社例祭
七月 二十二日	人形感謝祭
八月 十六日	除熱祭
九月 十三日	中禮祭
九月 二十三日	例大祭
十月 吉日	秋季皇霊祭
十月 十七日	献茶祭
十一月 三日	神嘗祭
十一月 十三日	明治節祭
十一月 十五日	神明宮例祭
十一月 二十三日	七五三祭
十二月 二十三日	新嘗祭
十二月 三十日	天長節祭
十二月 三十一日	師走大祓
全	除夜祭

◎毎月一日・十三日 月次祭
◎毎月十三日 交通安全祈願祭



剣道大会開催

九月十五日、「第四十一回奉納剣道大会」が開催され、試合に先立ち、拜殿で奉告祭が執り行われました。

参拝後、早速運動靴に履き替えた砺波地区の小中高校生約二百十人が、神木に囲まれた境内で団体戦と個人戦で熱戦を繰り広げました。

当日は天候にも恵まれ、多くの観客が熱い声援をおくりました。試合結果は次の通りです。

《団体の部》

▽小学生

- ① 井波町剣道スポーツ少年団
- ② 福野町剣道スポーツ少年団

▽中学生男子

- ① 福野中学校
- ② 庄西中学校
- ③ 出町中学校

▽中学生女子

- ① 庄西中学校
- ② 出町中学校

《個人の部》

▽小学生

- ① 中村 法貴 (井波)
- ② 青山 空 (井波)
- ③ 澤 慧牙 (井波)

▽中学生男子

- ① 千代 朋之 (出町)
- ② 重原 和希 (福野)
- ③ 中澤 良輔 (城端)

▽中学生女子

- ① 堀 理絵 (出町)
- ② 永森 俊一 (井波)



▽高校生男子

- ① 山田 宗元 (福野)
- ② 島田 敬也 (福野)
- ③ 上保 尚之 (福野)

▽高校生女子

- ① 島田 明奈 (井波)
- ② 上司 歩 (井波)
- ③ 森田安希子 (福野)

献穀田拔穂祭齋行

五月十八日の「お田植え祭」で植えられました「コシヒカリ」の苗が実り、去る九月二十一日井波町安室の献穀田で「拔穂祭」が斎行されました。

当日は、奉耕者の河原祥滋氏また井波町中核農業士協議会会長木村正治氏をはじめ関係者六十名が参集し、五名の早乙女（河原由加子さん、畑侑加里さん、松長淳美さん、才川瞳さん、谷畑千春さん）が水田に入り手で稲を刈り取りました。

例年にならない天候不良で稲の生育が心配されましたが、大神様の御加護のもと、また関係各位の皆様のお力により無事に実り、刈り取られた稲は十一月二十三日の新嘗祭で御神前にお供えされました。



初穂曳奉仕のこと

伊勢の神宮へ初穂を捧げ神恩に感謝し、お木曳行事の伝統を継承する「第三十二回初穂曳」が、去る十月十五日・十六日の両日にかけて行われ、献穀田奉耕者の河原祥滋・久代ご夫妻、また井波町中核農業士協議会会長木村正治氏・永井善彦氏（一昨年奉耕者）・浦権禰宜の五名が参加しました。

「一日神領民」として「エンヤ」の威勢のいい木遣りで曳き、献穀田で収穫した初穂米を納めました。また神嘗祭由貴夕大御饗儀を奉拝し、内宮神楽殿で御神楽を奉納、参加者一同感激し、更なる五穀豊穰をお祈りしました。



人形感謝祭

去る七月二十日、第四回「人形感謝祭」が斎行されました。

当日は約百名が、古くなった日本人形やぬいぐるみを持ち寄りました。権宮司の祝詞奏上後、境内特設の納め所の三千体の人形を大麻と切麻で祓い清めました。

長くそばにおいて愛着があったり、子供の成長とともに古くなった人形なので簡単に処分することが出来ず、困っている方が多くいらつしやいました。参列者は「ひとがた」に自分の名前と人形への感謝の言葉を書いて御魂を慰めました。



また、「人形感謝祭」にあわせ七月十九日より二十一日まで「人形展（一期一会）」が開催され、木彫刻やカントリドールなどの創作人形が展示されました。

各作家が思いを込めて作製した約百点の人形に、参拝者は目を凝らして拝観していました。

▽出品作家

- 阿部 達也（富山市）
- 牛島 辰馬（庄川町）
- 西山マリ子（富山市）
- 八木 裕子（富山市）
- 池田由美子（砺波市）
- 荒井 恒雄（井波町）
- 松原きよこ（富山市）
- 鶴飼 文代（八尾町）
- 斉藤 明子（庄川町）

※順不同、敬称略

里芋おはぎ茶会

去る十一月二十五日、高瀬遺跡保存協会（横山豊介会長）主催の「里芋おはぎ茶会」が開催されました。

「里芋おはぎを作る会」の七名により、収穫されたばかりのサトイモともち米を一緒に炊いてすりつぶし、あんこをつけた「おはぎ」を約五百個作りました。

井波町茶道同好会によるお点前で、参加者は収穫に感謝しながら伝統の味を堪能していました。

「里芋おはぎ」とは

約五百年前から藤井宮司家に伝承されており、毎年十月二十九日に神前にお供えられる。

天候によって、里芋が豊作の年には稲が不作となり、稲が豊作の年には里芋が不作となり、対照的な作物であったため、毎年両方を作り食物の安定を計ったといわれている。



※写真提供（井波歴史民俗資料館）



授与品の御案内

「福うさぎ守」

御祭神の大国様（大国主命）は、神話「因幡のしろうさぎ」において、過ちをおかして傷を負った「うさぎ」をお助けになります。「福うさぎ守」は、廣大無辺なる御神徳をいただいた「うさぎ」に因んで、大神様の御加護と福が授かりますようお願いいたしました。



参

拜

日

誌

抄

「六月」

四日

関西電力(株)安全衛生推進会八十名
京都府・野宮神社九十二名
愛知県・大浜熊野大神社十三名

七日

越路ガーデン(株)(清掃奉仕)
八日
高瀬地区村総出(清掃奉仕)

九日

大阪府・杭全神社総代会
宮司 藤江正謹氏他三十九名

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)
十四日
荊波小学校昭和三十一年
卒業生還暦の会二十四名

二十日

砺波市中野第一希生会四十一名
二十三日
神奈川県・久里浜天神社
宮司 早川智好氏他二名

二十四日

式内社顕彰会北陸支部巡拝会二十名

「七月」

一日

中越パッケージ(株)
川田工業(株)

建設業労災防止協会

富山県支部砺波地区会

富山県労働基準協会砺波支部
タカハタ工業(株)協力会

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)
二十四日
池田グループ 代表取締役社長
池田喜紀氏他二名

「八月」

三日

富山県神社庁東西砺波支部・総代会
国家隆昌祈願祭

十一日

上野友熙氏(シシセサイザ)奉納演奏
十三日
立正佼成会(清掃奉仕)

二十一日

石川県神社庁珠洲支部・総代会
支部長桜井重祝氏他二十一名

二十六日

高瀬神社崇敬会栃木支部
藤井直和氏他十四名

四日

愛知県・真清田神社二の宮巡りの会
亘二十名

八日

明治神宮崇敬会

事務局長 中島精太郎氏
十日
功霊殿奉斎会(清掃奉仕)

十一日

高瀬地区村総出(清掃奉仕)
十五日
奉納剣道大会(奉告祭)

十七日

國學院大學六十八期会
千葉博男氏他二十名

二十日

井波地区交通安全協会
二十四日
七尾市老人会三十名

二十六日

綴喜神社総代会百二十名
中条村社会就労センター二十四名

三日

明治神宮崇敬会福生支部
支部長 石川政一氏他四十九名

五日

第三十回献茶式(裏千家流)
長野県・駒形嶽駒弓神社
宮司原万平氏他七名

九日

水分神社仮遷座祭

十二日
氏子祭

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)
十六日
井波町商工会十五名

二十日

愛知県・砥鹿神社責任役員
星野久雄氏以下九十八名

二十四日

神宮少宮司 高城治延氏
三十日
愛知県・大浜熊野大神社総代
鈴木和彦氏他十七名

六日

石川県・気多大社菊の会
宮司 三井秀夫氏他二十七名

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)
二十五日
里芋おはぎ茶会

二十六日

神社本庁総長 工藤伊豆氏

「十一月」

ブライダル情報

「二千年の歴史を刻む高瀬神社での厳かで格調高い結婚式の思い出は一生の宝物になるはず。」

お勧めプランとして、本格的な神前結婚式をリーズナブルに挙げられる「玉椿」があります。

これは挙式・写真・衣装・美容がセットとなった大変お得なプランです。

また「玉椿」プランとあわせて、二十名から三十五名までの少人数お食事プランもお勧めです。

最近の傾向として、式のみ神社で挙げられる方や披露宴というより会費制のパーティ形式の宴を希望されたりと、本当にさまざまな結婚式のスタイルがあります。披露宴もあわせて申し込まれる方が増加するよう、魅力ある結婚式場を目指しております。

尚、詳しいお問い合わせは社務所（担当・黒田）までお気軽におたずね下さい。



ブライダルフェア

去る、七月十三日（日）に「高瀬神社協力会」主催のブライダルフェアが開催されました。

当日は天候に恵まれ、多数のご来場をいただきました。

模擬挙式では、殿外参進や神前式での雅楽の生演奏、模擬披露宴

では津軽三味線でのご入場やゲスト参加型の演出、趣向を凝らした催し物もいろいろあり、大盛況でした。



「今、彼女のご両親に挨拶をしてきたところですよ」と訪れたホットなお二人もおられました。

フェアの効果もあり、参進や雅楽の生演奏を希望する方が急増しております。



ご結婚おめでとうございます

平成十五年中に当神社にて挙式された皆様です。

(挙式日、時間順)

(一月) 梅崎 準・里乃様

(二月) 高橋秀和・葉子様

清原孝史・真由美様

加藤義文・祐子様

山村和也・静様

瀧口裕文・雪美様

本郷章彦・香奈子様

藤田昌宏・安津子様

宮窪浩一・淳子様

西川賢一・ひとみ様

林 謙一・亜紀子様

(四月) 村江宏之・祐子様

明瀬孝司・美幸様

武田 健・絵里様

辻森太郎・優子様

澤田雄司・聖子様

(五月) 川岸範裕・裕美様

厚地雅文・浩枝様

棚田 隆・裕子様

(六月) 牧 慶輔・和美様

山下 博・智英子様

(七月) 吉田将人・裕子様

龍田富美男・美樹様

(八月) 藤井敬一・はるみ様

中村邦之・あい様

(九月) 横井貴暢・泰世様

上野 豪・美祐紀様

(十月) 荒山進二・真粧美様

山田篤嗣・ゆうき様

五十嵐智一・智子様

福井博邦・節代様

徳田 毅・環様

大窪正彦・清美様

斉藤 茂・幸恵様

富樫雄二・裕恵様

大橋政幸・美紀様

宮下 優・悦子様

(十一月) 直江 正・こず恵様

安達寛和・靖子様

加藤博之・美季様

曾根達博・志穂様

窪田直治・千夏様

岡安一範・紀子様

土居政史・彩子様

(十二月) 三橋亮一・千佳子様

柏 崇・由紀子様

坂井英夫・美佐様

瀧田将一郎・益右様

(十二月) 金 浩幸・百合子様

ご新郎ご新婦の末永いご多幸とご両家益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

結婚式・披露宴のご案内

高瀬神社挙式プラン

玉椿



越中一宮高瀬神社で挙げる厳かで格調高い挙式をリーズナブルな新価格でご提供いたします挙式プラン「玉椿」をどうぞご利用ください。

玉椿基本プラン：
248,000円

プラン「玉椿」に含まれるもの

挙式料

神前結婚式
神楽舞奉納

御衣装

新郎様用紋付一式
新婦様用白無垢一式

美粧

新郎様御着付料
新婦様御着付料

写真

2ポーズ・アルバム付を2冊

御祈祷のご案内

- 毎日、午前8時30分より午後4時30分の間随時受け付けておりますが、祭典・結婚式等で御奉仕できない時間帯もあります。
- 初穂料は一祈願につき金5,000円以上をお納めいただいております。
- 不明な点がございましたら、社務所までお気軽におたずねください。

厄祓

本年は次の通りです。年頭にお祓いをうけ、清々しい一年にしましょう。

(男性)

25歳	42歳
前厄(昭和56年生)	前厄(昭和39年生)
本厄(昭和55年生)	本厄(昭和38年生)
後厄(昭和54年生)	後厄(昭和37年生)

(女性)

19歳	33歳
前厄(昭和62年生)	前厄(昭和48年生)
本厄(昭和61年生)	本厄(昭和47年生)
後厄(昭和60年生)	後厄(昭和46年生)

戌の日(安産祈願)

1月8日・20日	7月6日・18日・30日
2月1日・13日・25日	8月11日・23日
3月8日・20日	9月4日・16日・28日
4月1日・13日・25日	10月10日・22日
5月7日・19日・31日	11月3日・15日・27日
6月12日・24日	12月9日・21日

編集後記

新年明けましておめでとうございます。この度、記念すべき社報創刊号を発刊することとなりました。

氏子・崇敬者の皆様、又関係各位の御意見を伺いながら、充実した社報を作製していきたいと思っております。今後とも御指導御鞭撻を賜りますよう、紙面をお借りしてお願い申し上げます。



<http://www.takase.or.jp/>

発行日 平成十六年一月一日
 発行所 越中一宮高瀬神社
 〒九三〇一〇二五二
 富山県東礪波郡井波町高瀬二九一
 TEL(〇七六三)八二〇九三二
 FAX(〇七六三)八一三二〇四

編集人 浦 泰 宏
 印刷所 牧印刷株式会社